

老人福祉計画素案に対する意見一覧

| 番号 | 意見内容 | 該当ページ | 対応案 |
|----|--|----------------|--|
| 1 | 「町内会・自治会」の表記を、自治会に統一したらどうか。 | 13 他 | もとす広域連合が実施しましたニーズ調査の回答項目をそのまま記載しています。 |
| 2 | 健康増進事業の推進(特定歯科健診、さわやか口腔健診) 現行計画における進捗状況がD評価であり、歯の健康は心身の健康にもつながることから、次期計画においては、受診率が向上することを期待する。そこで具体的事業の「内容」欄に目標数値(指標)を設定することで、目標達成に向けて事業を推進することができるのではないかと思う。 (まずは、なぜ受診率が向上しないのか、分析することが必要と思う) | 39 40 | 【具体的事業】指標を追加 |
| 3 | 健康増進事業の推進(すこやか健康診査) 75歳以上のかたを対象にしたすこやか健診だが、自分自身の健康状態を知るうえで、もう少し検査項目を増やせないものかと思う。 | 39 | 担当課へご意見を伝えます。 |
| 4 | 一般介護予防事業の推進(ふれあい・いきいきサロン事業) サロンのボランティアをしていたが、社協も来てもらい楽しいひと時を過ごしていた。次第に会員の年齢も高くなり、デイサービスや入所、病院通いに会員が減るばかり。ボランティアも高齢化し、少人数では十分なお世話もできなく解散した。本当に楽しいひと時だった。 | 41 | ①一般介護予防事業の推進に追加 |
| 5 | 人数や回数は、それぞれR3～R5の目標値でよかったか。現状値より低い値があるがよいのか。 | 41 42 57 | 【具体的事業】一般介護予防教室を修正 【具体的事業】くつろぎカフェを修正 【具体的事業】福祉協力員を修正 |
| 6 | シルバー人材センターへの支援 高齢者にとって働くという生きがいは、大変重要だと思う。簡単な仕事でもいいので、仕事を増やしてほしい。 | 45 | 地域での要望や困りごとなどを当該センターに伝えていきます。 |
| 7 | 瑞穂大学能力活性学部「おじいちゃん・おばあちゃんも学校へ行こう」 小学校だけでなく中学校も会場とし、生徒と交流する場を設けてはどうか。視野が広がると思う。 | 45 | 【具体的事業】瑞穂大学脳力活性学部を修正 |
| 8 | 生涯学習・スポーツ活動等の推進(瑞穂大学全般) パソコンなどを教えてほしいと思うかたが多くいると思う。逆に年配のかたでも教えるレベルのかたもいると思う。 | 45 | 地域で講習会を実施するなど、地域での人材活用に努めていきます。 |
| 9 | 生涯学習・スポーツ活動等の推進(多世代交流) 学校の先生も通常の授業で大変と聞く。部活など指導者ライセンスの取得をシステム化した上、生徒たちと交流したり、部活の一部としてボランティア部があってもいいと思う。 | 45 | 担当課へご意見を伝えます。 |
| 10 | 地域包括支援センターの機能強化(みずほケアマネサロン) 上段と下段の内容が一部同じことを繰り返している。 | 47 | 【具体的事業】みずほケアマネサロンの内容を修正 |

老人福祉計画素案に対する意見一覧

| 番号 | 意見内容 | 該当ページ | 対応案 |
|----|--|----------------|---|
| 11 | みずほしごとの森 あまり知られていないのでは。もっと広報等で周知してはどうか。 進捗状況報告書(7) | 49 | 【具体的事業】福祉総合相談センターに追加 |
| 12 | 生活支援体制の整備 3つ目の○の施策は、生活支援ボランティアと地域支え合い推進会議の2つのことが同じ事のように記載されているが良いか。 | 50 | ①生活支援体制の整備を修正 |
| 13 | 生活支援体制の整備 ①生活支援体制の整備に地区社会福祉協議会の設立があるが、これは別のことでは。 | 50 | ②地区社会福祉協議会の推進を修正 |
| 14 | 今後、免許返納者が多くなると予想される。行動範囲も制限されることとなるので、一拠点だけでなく、コミュニティセンターなどでも、各種教室、健診、ボランティア活動を行う方向性にすれば、地域のかたも、より身近に助けてもらえ、尚且つ参加しやすいのではと思う。 | 42 50 51 | にこにこ運動教室 生活支援体制の整備 地区社会福祉協議会の推進 外 |
| 15 | 予防教室・講座など多くの勉強の場があるが、市民の認知症に対する理解が得られ、早期発見また自身の自覚も対応できるためには、もう少し市民の中に(グループ、サークルなど)入り込んでもらうと、通う手段のないかたたちも出席しやすいのではないか。 いずれにしても、人が集まってきてもらわないと思う。 | 42 50 51 | にこにこ運動教室 生活支援体制の整備 地区社会福祉協議会の推進 外 |
| 16 | 今や大多数のかたが携帯電話を利用している。災害時の情報伝達として携帯電話の活用を推進しては。 | 63 | ①災害時支援体制の強化に追加 |
| 17 | 取り組みについて、記載内容が着実に実践、評価されれば素敵な内容だと思う。 | 第4章以降 | 当該計画の達成に向け、取り組んでいきます。 |
| 18 | 「岐阜県版」若者ひきこもり協同実践交流会 深刻となっている8050問題であるが、これからは、重要な課題となってくると思うので、ひきこもりに関する講演会や交流会を開催してほしい。 | 進捗状況報告書(6) | 具体的には明記していませんが、市の講演会などにおいて、8050問題に関する内容について検討します。 |
| 19 | 在宅医療・介護に関する市民への普及啓発 講座や講演会を平日開催とすると参加者は少ないと思う。土日に開催したほうが、参加者が増えるのでは。 | 進捗状況報告書(10) | 土日開催も議論をしてきましたが、諸々の都合によりできませんでした。今後も引き続き検討していきます。 |